



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

## 1. マーケット・レート

			2月13日	2月14日	2月15日	2月16日	2月17日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1100	3.0850	3.0570	3.0900	<b>3.0980</b>	+0.0080
	BRL/JPY	Spot	36.53	37.02	37.36	36.61	<b>36.45</b>	-0.16
	EUR/USD	Spot	1.0599	1.0572	1.0591	1.0675	<b>1.06</b>	-0.0066
	USD/JPY	Spot	113.63	114.22	114.23	113.11	<b>112.92</b>	-0.19
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	11.33	11.31	11.25	11.25	<b>11.22</b>	-0.0335
	Future	1Year(p.a.)	10.53	10.51	10.49	10.53	<b>10.43</b>	-0.0992
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.042	2.041	2.053	2.071	<b>2.08</b>	+0.006
	USD	1Year(p.a.)	2.193	2.191	2.196	2.242	<b>2.26</b>	+0.014
株式	Bovespa指数	66,964.06	66,849.94	67,975.56	67,814.00	<b>67,748.44</b>	-65.56	
CDS	CDS Brazil 5y	217.41	213.87	221.72	229.64	<b>231.09</b>	+1.45	
商品	CRB指数	192.060	192.279	193.257	192.763	<b>192.12</b>	-0.640	

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは1年8か月ぶりに3.04台まで上昇。
- 週初のレアルは3.1130で寄り付いた。イエレンFRB議長が議会証言で3月の利上げについて言及したことを受けて、金利上昇期待を背景にドルが買われると、レアルは週間安値3.1260を示現。しかし伯中銀による為替介入警戒感が後退するとレアルが上昇。2015年7月以降で初めて3.10を割り込み、高値3.0420を示現した。週末にかけては短期筋の利食いで反落し、結局3.0980で越週。
- 伯中銀公表のエコノミスト予想集計では、2017年の経済成長率予想が0.49%から0.48%に2週連続で下方修正される一方、2018年予想は2.25%から2.30%に2週連続で上方修正された。2017年のインフレ率予想は4.64%から4.47%に6週連続で下方修正された。
- 14日、伯中銀はドル売りポジションのロールオーバーを再開。17日までの4日間で合計12億ドルのポジションをロールオーバーした。3月に期日を迎えるドル売りポジションは当初約70億ドルあったが、今週のペースがロールが続けば3月期日のドル売りポジションは43億ドル程度まで減る見込み。ドル売りポジションは期日に同額の買戻しが発生することから、ロールオーバーはドル買い戻し時期を延期することと同義。ロールオーバーの再開により現在の為替水準でのドル買い介入警戒感は急速に後退した。

## 3. 今週のチャート&amp;ハイライト



## 介入警戒感の後退でレアル高値圏へ

レアルが3.10を割れた所で、既存ドル売りポジションのロールオーバーを再開。3月期日のドル売りポジションは約70億ドルあり、何もしなければ期日には同額のドル買戻しが出る予定だったが、この一部が6月と7月期日に延長され、3月期日のドル買い戻し金額は減った。ロールを続けば3月期日のドル買い戻し金額は更に減る。1月にレアルが3.10に近づいた際には伯中銀総裁がレアル高への警戒感を示し、ドル売りポジションのロールを停止したことから、3.10を防衛ラインと見る市場参加者も多かったが、伯中銀が逆の行動に出たことで介入警戒感は大きく後退。レアルは2015年7月以降で初めて3.10を割り込んだ。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。



## 4. 来週の為替市場注目点

## 予想ドル・レアル相場レンジ：3.00－3.15

来週のレアルは高値を試す展開を予想。伯中銀がドル売りポジションをロールオーバーしたことで、ドル買い介入警戒感が急速に後退。週前半には節目となる3.0を試す動きになると予想する。週後半に向けてはカーニバル休暇に向けたポジション調整でレアル買いの勢いは徐々に緩むと思われる。米国サイドでは住宅関連指標の他、22日のFOMC議事録に注目が集まっている。

## 5. 本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FIPE CPI-週次	0.11%	0.02%	0.18%
ブラジル	IGP-M Inflation 2nd Preview	0.13%	0.02%	0.76%
ブラジル	経常収支	-\$5350m	-\$5085m	-\$5881m
ブラジル	海外直接投資	\$9500m	\$11528m	\$15409m
米	景気先行指数	0.5%	0.6%	0.5%

## 6. 来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	2/20	貿易収支(週次)	Feb 19	--	\$956m
ブラジル	2/20	登録雇用創出合計	Jan	--	-462366
ブラジル	2/22	FGV消費者信頼感	Feb	--	79.3
ブラジル	2/22	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	Feb	--	5.94%
ブラジル	2/22	SELICレート	Feb 22	12.25%	13.00%
ブラジル	2/22	税金	Jan	136850m	127607m
米	2/22	中古住宅販売件数	Jan	5.54m	5.49m
ブラジル	2/23	FGV CPI IPC-S	Feb 22	--	0.49%
ブラジル	2/23	FGVインフレ率IGPM(前年比)	Feb	--	6.65%
ブラジル	2/23	融資残高	Jan	--	3106b
ブラジル	2/23	中央政府財政収支	Jan	--	-60.1b
ブラジル	2/24	FIPE CPI-週次	Feb 23	--	0.02%
ブラジル	2/24	全国失業率	Jan	--	12.00%
ブラジル	2/24	基礎的財政収支	Jan	--	-70.7b
米	2/24	新築住宅販売件数	Jan	575k	536k

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。